

自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	管理者、職員は地域密着型サービスを理解できており事業所、ユニット独自の理念が作られています。	
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念の共有化を図る為、カンファレンス時に再確認し日々のサービスに反映出切るよう努めています。	
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にした理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	家族に理念を理解して頂けるよう事業所内に理念を掲示し、ユニット独自の理念はユニット内に掲示しています。	
2. 地域との支えあい			
4	○隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	町内会に入り町内会の行事に参加できるよう働きかけています。 運営推進会議を利用し町内会長、民生委員に働きかけ事業所を理解出来るようパンフレットの配布を行いました。また消防訓練への参加を呼びかけ交流を図っています。	
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価のねらいや活用方法を職員に周知する取り組みを行っており、カンファレンスで結果を元に改善策の検討や改善計画を話し合い改善に取り組んでいます。		
6	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では積極的に参加を促す案内を行っています。自己評価、外部評価のねらいを説明、結果を公表し会議で報告、情報交換を行い今後の取り組みに活用しサービスの質の向上につなげています。		
7	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の担当者へ広報誌、パンフレットを配布しホームページを理解して頂けるよう強めています。運営推進会議の議事録を提出し実情を伝える機会を作っています。		
8	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	権利擁護の制度について職員全員が十分理解できているとはいえない。内部研修を予定しており、知識を深めていきたいと考えています。		
9	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	虐待防止法については日ごろから説明し、注意を払い防止に努めています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
10	<input type="checkbox"/> 契約に関する説明と納得 <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	契約書面に沿い、口頭でも十分説明を行い理解納得を図っています。	
11	<input type="checkbox"/> 運営に関する利用者意見の反映 <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	意見、苦情、不満は随時受付し会議にて改善策を検討の上、要望に添えるように努めています。	
12	<input type="checkbox"/> 家族等への報告 <p>事業所での利用者の暮らししぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	ホーム便りを2ヶ月に一回発行し利用者の暮らしやホームでの行事、職員の異動などをお知らせしています。健康状態に関しては直接家族に連絡し相談対応しています。金銭管理は請求書と共に郵送し確認して頂いています。	
13	<input type="checkbox"/> 運営に関する家族等意見の反映 <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	契約時に当施設の苦情相談窓口と市町村、国保連の苦情相談窓口の説明を行っています。苦情、相談があった場合は、会議を行い反映させています。	
14	<input type="checkbox"/> 運営に関する職員意見の反映 <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させていている</p>	職員の意見は随時受付し、聞く機会を設け運営に反映させています。	
15	<input type="checkbox"/> 柔軟な対応に向けた勤務調整 <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	外出行事などの際は日常より多くのスタッフにて対応しています。職員の急な休みに対しても、勤務変更し対応しています。	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16 ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動は極力避けたいが、必要な場合は利用者への影響も十分考慮し、検討しています。		
5. 人材の育成と支援			
17 ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部評価の案内は積極的に取り入れ、勉強できる機会を確保しています。内部研修に関してはカンファレンス時に時間を取り研修を行っています。		
18 ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市や保健所の研修会に参加し、同業者との交流を持ち情報交換をする事でサービスの向上が図れています。		
19 ○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための良好な工夫や環境づくりに取り組んでいる	職員が業務上の相談を管理者に相談できる様に配慮しています。また、リーダー会議があり管理者の悩みを相談できる機会を設けています。休憩時は出来るだけ利用者から離れ、リフレッシュし利用者との関係を良好に保つよう取り組んでいます。		
20 ○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働くように努めている	現場の勤務状況を把握しています。年2回の健康診断を実施し心身の健康を保てるよう努めています。また、個々の資格を活かせるようにしています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
21	<p>○初期に築く本人、家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人、家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>契約前に事前調査を行い本人や家族が困っている事、求めている事を確認し受け止め、契約に至った場合は職員間で共有し信頼関係を築いています。</p>	
22	<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>事前調査の際に本人の状態、家族の要望、必要とされている支援を見極め当施設で対応できるか十分検討しています。</p>	
23	<p>○馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するため、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>家族や友人に面会の協力を仰ぎ、またなじみの私物などを手元を持って来て頂いて、安心し雰囲気に馴染んでいけるよう家族と相談しながら工夫しています。</p>	
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
24	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>出来ない事を援助し合える仲間として共に生活していくよう支援しています。喜怒哀楽を共有し家族のような関係を築いています。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25 ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家族との情報交換を密にし家族の思い、本人の思いを把握できるように努めています。		
26 ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	利用者と家族がより良い関係を保てるよう双方の思いを把握し対応しています。ホーム便りにて本人の生活を報告したり、疎遠になっている場合は面会に来て頂くように連絡しています。		
27 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	利用者の希望に応じて馴染みの場所に出掛けられるようにしています。知人や友人がホームへ訪れやすいような雰囲気作りに努めています。		
28 ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	職員は利用者同士助け合い支え合って暮らしていく事の大切さを理解し、利用者同士の関係を把握してより良い人間関係を築いていけるよう調整しています。		
29 ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	サービス終了後も相談に応じる姿勢を家族や利用者に示しています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
30	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>利用者の希望や思いは傾聴し十分把握するように努めています。必要に応じて家族や関係者から情報収集を行い利用者本意に検討しています。</p>	
31	<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>利用者のプライバシーに配慮しながら、生活暦、価値観等把握しています。</p>	
32	<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>利用者の一日の過ごし方や生活習慣を観察していく中で利用者の出来る事、出来ない事、わかる事を把握しています。</p>	
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
33	<p>○チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>介護計画は職員間で十分話し合い作成しています。計画は利用者、家族に確認してもらい意見や気付きを反映し利用者本意の計画になっています。</p>	
34	<p>○現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護計画の実施期間を明示し実施、見直しを行っています。介護保険の更新時や身体状態に応じて計画の見直しを行っています。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
35 ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	利用者一人ひとりについて、計画に沿って実施した結果がどうなったか記載しています。日々の暮らしの様子が把握できるよう記録し職員間で情報を共有しています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
36 ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	通院の援助をドライバーとユニットスタッフで行っています。身体状態が重度化した場合、ご家族の希望に応じて法人内の有料老人ホームへの入居が出来るよう支援しています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
37 ○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	運営推進会議を利用し町内会長や民生委員、教育機関に呼びかけを行っています。児童の訪問や避難訓練など協力をして頂いています。		
38 ○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	行っていません		
39 ○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	行っていませんが運営推進会議に出席して頂いており必要な場合、相談できる体制になっています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
40 ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人及び家族の希望にてかかりつけ医に受診し利用者の状態を把握、連携を図り適切な医療を受けられるよう支援しています。		
41 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	認知症に詳しい医師と連携をはかりながら連絡、相談を行い薬の調整を行っています。		
42 ○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	施設内に常勤の看護師がおり、相談しながら日常生活の健康管理、医療活用の支援を行っています。週1回の定期訪問があり、状態を把握しています。		
43 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院に至った場合は週1回、状態確認を行い病院関係者と情報交換、相談し連携をしています。		
44 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合、病院や家族、施設内看護師と連携を図りながら、可能な範囲で対応しています。また、家族の希望を確認しスタッフ間で情報の共有をしています。		
45 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	家族と十分相談し、ホームで出来る事・出来ない事を説明した上で、かかりつけ医や施設内の看護師と連携を図り対応しています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
46 ○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	入居、退去の際、環境の変化で状態が変わってくる事を十分説明し、家族の協力が得られるよう働きかけています。利用者の情報交換を行い、習慣やケア方法を確認しています。		

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援

(1)一人ひとりの尊重

47	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者の誇りを傷つけないよう声掛けしています。個人情報を使用する場合は同意書を頂いた上、プライバシーを損なわないよう取り扱っています。		
48	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	利用者との関わりや家族からの情報を踏まえ、自己決定できるような場面作りをしています。意思表示できない場合でも表情や態度から予想し対応しています。		
49	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の希望や身体状態に合わせ、利用者に合ったその日のペースで柔軟に対応しています。		

(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援

50	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	利用者の希望や個性を尊重し好みで衣類を選んで頂いています。整容、乱れはさりげなく声掛け、または介助し整えています。自分で出来ない方は家族から好みを聞き対応しています。理美容に関しては希望時、店に行ったりお店に出向いて頂いています。		
----	---	---	--	--

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
51 ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	献立は利用者の希望や好き嫌いに配慮し決定しています。調理、片付けをスタッフと一緒にを行い食事も同席で撰り利用者のペースに合わせ介助しています。		
52 ○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	本人の嗜好品を把握しています。現在飲酒、喫煙される利用者はいないので、おやつ、飲み物で日常的に楽しめるよう支援しています。		
53 ○気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	利用者一人ひとりの排泄パターンを記録、把握しており自分でトイレに行けない利用者は時間で誘導し失禁にならないよう援助しています。汚染時は騒がず、速やかに交換を行い不快を取り除いています。		
54 ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者一人ひとりの入浴の習慣や熱さの好みを把握しています。入浴時は羞恥心に配慮しながら見守り、介助し声掛け会話しながら入浴して頂いています。入浴の際は声掛けし、同意を得た上で対応しています。		
55 ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	利用者一人ひとりの睡眠パターンを把握しています。寝付けない利用者に対しては付き添い声掛け傾聴したり、飲み物を提供し眠りにつく準備の手伝いをします。必要に応じ主治医と相談しながら眠剤の服用調整を行っています。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
56 ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者の生活暦、希望を把握し一人ひとりに合った役割や活動を促しています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57 ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭管理はホームで行っていますが、買い物時支払いの出来る利用者には行って頂くように支援しています。		
58 ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	利用者の希望に応じて、買い物や気分転換に出かけています。利用者から要望が出ない時は話しやすい雰囲気作りに努めています。		
59 ○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	利用者から行きたい場所の希望があった場合は、出来るだけ希望に添えるよう家族と相談しながら実現できるよう取り組んでいます。		
60 ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	利用者に届く手紙や電話は取り次ぎしています。手紙を書いたり電話をかける際は出来るように支援しています。		
61 ○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	家族、知人、友人など馴染みの人がいつでも訪問しやすいような雰囲気作りに努めています。		
(4) 安心と安全を支える支援			
62 ○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束の内容やその弊害を理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいます。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
63 ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	利用者の状態に応じて対応しています。帰宅願望で出口を探している場合は自由にユニットから出られるように付き添い対応しています。		
64 ○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜を通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	昼夜共に利用者の見守りがしやすい場所で記録や活動を行い所在確認や様子観察し安全に配慮しています。		
65 ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	洗剤等注意が必要な物品の保管場所は取り決めがあります。ユニット内では利用者の目が届かない場所、手の届かない場所で管理しています。		
66 ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	利用者の状態に応じ事故の危険性を探り、ヒヤリハットを活用してカンファレンス時に防止策を検討し事故防止に努めています。		
67 ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	利用者の急変や事故発生時は、全てのスタッフが対応出来るようカンファレンス時に訓練を行っています。		
68 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	日中、夜間を想定した避難訓練を定期的に行っています。地域の協力を得られるよう働きかけを行い避難場所を確保しています。同一法人からの協力支援体制も整えられています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
69 ○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	利用者一人ひとりに起こりうるリスクの可能性は状態に応じ家族に説明を行っています。利用者の状態に応じカンファレンスを行い介護経過の見直しを行っています。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
70 ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	利用者一人ひとりの持病やアレルギー、感染症など職員全員が把握しています。状態の変化のある場合は記録に残し申し送りで情報を共有し対応しています。		
71 ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	スタッフが利用者の服用している薬の作用、副作用を把握できる様に薬の作用表を活用しています。内服の変更時は申し送りにて周知できる様努めています。服薬は利用者の状態に応じ介助しています。		
72 ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	便秘時は運動や牛乳、食物繊維の多い食品を利用し、自然排便を促す工夫をしています。便秘が続く場合は医師と相談し薬の調整をしています。		
73 ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後の口腔ケアを行っています。義歯洗浄を自分で出来る利用者にはやって頂き、出来ない利用者には介助で対応しています。週1回義歯洗浄剤の使用で清潔に努めています。オーラルケアの重要性はカンファレンス時に説明しています。		
74 ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	カロリー計算をしたメニューを活用し1日の総摂取カロリーの把握をしています。必要な場合はカロリーや水分摂取量を記録し管理しています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
75 ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	感染症マニュアルがあります。マニュアルだけではなく実際の対応方法をカンファレンス時に指導しています。		
76 ○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	台所、調理器具、食器、食材の清潔を保持する為のマニュアルがあり、全スタッフが周知しています。食材の発注を週2回にし新鮮な食材を使用できる様に管理しています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり			
(1) 居心地のよい環境づくり			
77 ○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関周囲に花を飾ったりして、家庭的な雰囲気作りを心がけ利用者や近隣住人が気軽に出入りできるよう工夫しています。		
78 ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を探り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	家庭的な雰囲気作りに努め、心地よい共有スペースを保てるよう配慮しています。季節を感じて頂けるよう飾りつけも工夫しています。		
79 ○共用空間における居場所づくり 共用空間の中には、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有スペースで利用者が遠慮せず過ごせるよう工夫しています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
80 ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居心地のいいスペースを確保出来るよう馴染みの家具や愛用している物を持って来て頂ける様に家族に働きかけています。持ち込みの少ない利用者には本人の意向を聞きながら居心地の良い居室作りに努めています。		
81 ○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	ホール内に温度計、湿度計を設置して適温を保ち、加湿器を利用し湿度も保てるよう管理しています。換気は適宜行っています。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
82 ○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	利用者が安心して生活出来るよう廊下やトイレに手すりが設置されています。ユニット内はバリアフリーになっています。		
83 ○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	利用者の混乱や不穏行動が続く場合は、混乱を招く要因を排除、改善し対処しています。利用者個々に合わせた対応や工夫を行っています。		
84 ○建物の活用 建物を利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	庭に花や野菜を植えたり、玄関ホールで集うなど建物や敷地を利用しています。		



部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		
項 目		取り組みの成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
85	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
86	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/> ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
87	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどない
88	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどない
89	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどない
90	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどない
91	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどない
92	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
93	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
94	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/> ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
95	職員は、活き活きと働けている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が ②職員の 2 / 3 くらいが ③職員の 1 / 3 くらいが ④ほとんどいない
96	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の 2 / 3 くらいが ③利用者の 1 / 3 くらいが ④ほとんどいない
97	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の 2 / 3 くらいが ③家族等の 1 / 3 くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

スタッフの介護方針の方向性を合わせて利用者への対応をしており、利用者とスタッフとの信頼関係が築けています。家族のように何でも話せ不安や焦燥を分か